

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 1日

事業所名 主体会KIDSデイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースを確保しています	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令で必要とされる配置数に加え、職員を2名配置しています	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		駐車場からフロアまですべてに配慮しています。家具の角などにクッション材などにより安全配慮をしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		スタッフ間のミーティングやケースカンファレンスを実施しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者への満足度調査アンケートを行い、業務改善に繋げていきます	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		お便りの作成。支援の参考動画をホームページに公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	利用者と事業所間の二者評価を行っておりません。第三者による外部評価については、必要に応じて検討してまいります	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		法人研修・事業所内研修・外部研修へも意欲的に参加しています	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		保護者のニーズを聞き取り、スタッフ間ミーティングを行い計画を作成しています	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		<input type="radio"/>	全ての利用児ではありませんが、発達評価・機能評価表を取り入れています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		スタッフ間でケースカンファレンスを開催し、支援内容を検討しています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		発達や特性、その日の状態に応じて、主体的に取り組めるよう支援しています。覚えてほしい活動や環境によっては、毎日同じ活動を提供することもあります。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		利用時間に応じた課題・活動内容を実施しています	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		利用者の計画や目標によっては個別・集団活動の計画を立案しています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		利用者数によって思うような個別・集団活動が行えないことがあります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		業務前・中・後にスタッフ間での情報共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		3ヶ月に一度モニタリングを行い、スタッフ間と情報共有を行い、支援計画の見直しを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		支援計画を基に、日々の支援を行っています		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、児童指導員が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		適宜連絡をして情報共有しております	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		協力医療機関(主体会病院)と連携し連絡体制を整えております	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援員さんを中心に情報共有を図っております	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		協力医療機関(主体会病院)と連携し、情報共有を行っております	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	利用者全員に画一的に実施することはしておりません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	地域で開催される交流会などに積極的に参加していく予定です	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノート等を通じて、悩みや課題を共有して、助言等を行えるよう努めています	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		療育で実施している内容や声掛け、関わり方などを保護者と相談しております	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規定、利用者負担額等について、契約時または質問を受けた際に、説明しております	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡ノート等を通じて、悩みや課題を共有して、助言等を行えるよう努めています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	実施しておりません。状況に応じて催しを企画します。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口を設置し、対応させていただきます	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的会報の発行ができておりません。HP等に活動概要、個別れんらくノートでの連絡体制を図っています	
	35	個人情報に十分注意している		○	法人内の個人情報保護委員会への参加・周知に努めています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		障害の特性に応じて対応しております 面談や連絡帳、LINEなどでの情報共有を行っております	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急時対応マニュアル、災害時対応マニュアル、防犯マニュアル等について策定し、職員に周知している。また閲覧できるようマニュアルを開示しています。避難訓練については1階の他事業所と合同で実施しております	参加できなかった方に向けて、報告書の掲示を行いました
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		外部研修会へ参加し、スタッフ間での勉強会を開催しております	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事の提供をしておらず、保護者の管理物と食事・おやつを摂っていただいています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		月1回集計し、委員会へ報告しています	